

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

価値ある生活文化をいつまでも

茅葺き屋根の葺き替え

高橋日出仁さん（深谷）のお宅では、5月上旬から下旬にかけて、茅葺き屋根の葺き替えが行われました。

作業は、職人と作業員、高橋さんご夫婦の4人で進められ、ある程度束ねた茅を屋根に差し込み、

「ガギ」と呼ばれるヘラのような木製の道具で表面を叩いてならしていきま

す。高橋さんのお話しによると、今までは刺し茅という補修方法で屋根の手入れをしてきたそうです。



▲葺き替え作業のようす

なければならぬ。

昔は、近所の人たちが「結」でお互いに葺き替えを手伝っていたが、今は茅葺き屋根がほとんど無くなってしまった。でも、こうして大切な文化を守っていくこともスロ―ライフだよ」と笑顔で話していました。



▲持っているのが「ガギ」

川村武さんに瑞宝双光章

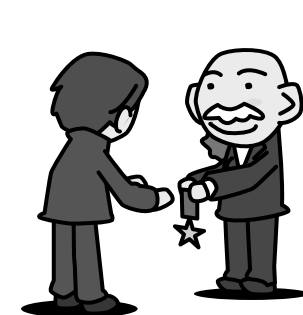
長年の行政相談委員活動に対して



▲現在まで行政相談員を21年間務めている川村武さん

平成16年春の叙勲において、川村武さん（草野）が瑞宝双光章を受章され、伝達式が5月12日、東京都内のホテルにおいて行われました。

川村さんは、昭和58年4月から現在まで21年間、行政相談委員として住民からの悩みや相談に応じてきました。今回の受章はその長年の功績が認められたものです。



住む人と訪れる人に憩いと安らぎを

中学生による「花いっぱい運動」

飯館中学校（島義一校長）では、総合学習の一環として、村の「花いっぱい運動」に積極的に取り組んでいます。

5月7日には1年生80人が、2班に分かれて花壇の草取りと花の種まきを行い、県道沿いにある草野赤坂地区の花壇で、生徒ら42人がシャベルやスコップを手に、花壇の草を取り、苗床を作っていました。一方、伊丹沢の山田二正さんの葉たばこハウスでは、生徒38人がマリーゴールド約2万本分の種まきを行い、山田さんの指導を受けながら、丁寧に苗床へ種をまいていました。

また、5月18日は、山田さんのハウスで、1年生80人による花の仮植作業が行われ、生徒らは、始めに県の相双農林事務

所農業普及部の職員から仮植について説明を受けた後、先日種をまいたマリーゴールドと、新たに芽を出したサルビア合わせて5万本をポットに植え替えました。

花の仮植作業は5月末にも行い、今回仮植したサルビアとマリーゴールド計10万本は、花が咲く6月中旬から村内各施設をはじめ、行政区にも配布されるほか、県道沿いにも植えられる予定です。

中学校では、今後も引き続き「花いっぱい運動」に取り組んでいくことにしています。



▲県の職員から説明を受ける生徒たち



▲苗床づくりのようす

急がず・あわてず安全確認

幼稚園で交通教室

5月31日、村内2つの幼稚園において、宅配業者のヤマト運輸（株）による交通教室が行われました。

この教室は、宅急便等を配達する際には車を道路に停める機会が多いことから、それによってできる死角の危険性を子供たちに知ってもらい、交通事故を防止しようとして、ヤマト運輸（株）が配達員の研修も兼ねてそれぞれの管内幼稚園や小学校を対象に取り組んでいるもの

です。このうち、草野幼稚園の園庭で行われた教室には、原町営業所の従業員12人が訪れ、停車している配達車の下に遊んでいたボールが入ってしまった時の対応や、正しい横断歩道の歩き方などを、実際の配達車と人形を使って分かりやすく説明し、事故防止を呼びかけました。

教室の最後には配達車見学も行われ、順番に配達車へ乗り込み、内部の様子を見た子供たちは「中は思ったより広い」「運転席が高くて見晴らしがいい」と感想を話していました。



▲交通教室のようす

